令和２年度　第１回 事業評価監視委員会　審議案件一覧（道路事業：再評価）

資料１

番号	審議区分	県名	事業名	前回評価年度 【 】で前々回評価年度を記載している事業は、前々回の費用便益分析結果を用いた事業 （ ）は今回再評価理由	車線数	事業延長の変化 （ ）内は開通済み延長（R2予定含む）		全体事業費の変化		事業期間の変化		計画交通量の変化		費用便益比の変化				R2年度以降開通予定 （R2.9時点）	対応方針（原案）	県知事意見
														全体		残事業				
						前回	今回 （ ）は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差			
1 （資料3-1）	要点	岩手	一般国道4号 水沢東バイパス	H27 【H24】 （社会情勢変化）	2/4	9.6km （4.6km）	9.6km （6.9km） （＋2.3km） ○奥州市水沢姉体町～奥州市水沢東中通り二丁目	380億円	390億円 【＋10億円(3%)】 ○支持層変更に伴う橋梁構造の変更	39年 S60～R5	41年 【＋2年】 S60～R7 用地買収難航による事業工程精査	21,500台/日 ■推計：H17OD （第２段階改善）	20,200台/日 【-1,300台/日】 将来OD変更、ネットワーク条件見直しによる減少 ■推計：H22OD	1.2 【前々回】	1.05 【－0.15】 事業費増、交通量減によるB/Cの減	3.4 【前々回】	2.6 【-0.8】 部分供用による便益の減少によるB/Cの減	■奥州市水沢真城字東大深沢～奥州市水沢姉体町 L=2.7km（R7）	事業継続	事業継続
2 （資料3-2）	要点	岩手	一般国道46号 盛岡西バイパス	H28 【H25】 （社会情勢変化）	4/4 ～ 4/6	7.8km （7.8km） 2/4暫定3.6km 4/4完成1.1km 4/6暫定3.1km	7.8km （7.8km） 2/4暫定3.6km 4/4完成1.1km 4/6暫定3.1km	430億円	453億円 【＋23億円(5%)】 ○道路橋示方書改定の対応	39年 S59～R4	42年 【＋3年】 S59～R7 河川橋協議結果による工程精査	30,300台/日 【前々回】 ■推計：H17OD （第２段階改善）	30,900台/日 【＋600台/日】 将来OD変更による増加 ■推計：H22OD	1.8 【前々回】	1.3 【－0.5】 事業費増、事業期間延長によるB/Cの減	7.3 【前々回】	3.2 【-4.1】 部分供用による便益の減少によるB/Cの減	■盛岡市本宮字泉屋敷～盛岡市上厨川字前潟 L=3.6km（R7）	事業継続	事業継続
3 （資料3-3）	要点	宮城	一般国道4号 大衡道路	H27 （新規採択後5年）	4/4	4.5km （0km）	4.5km （0km）	79億円	79億円	10年 H28～R7	10年 H28～R7	27,300台/日 ■推計：H17OD （第２段階改善）	26,900台/日 【-400台/日】 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD	1.8	1.7 【-0.1】 交通量減によるB/Cの減	－	2.3		事業継続	事業継続
4 （資料4-1）	重点	山形	日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘 酒田みなと～遊佐	H29 （社会情勢変化）	2/4	12.0km （0km）	12.0km （5.5km） （＋5.5km） ※R2予定 ○酒田みなと～（仮）遊佐比子（5.5km）	310億円	360億円 【＋50億円(16%)】 ○盛土材改良の追加 ○防砂林数量の増	14年 H21～R4	15年 【＋1年】 H21～R5 用地買収難航による事業工程精査	12,300台/日 （12,200台/日） ■推計：H17OD （第２段階改善）	10,200台/日 （10,600台/日） -2,100台/日 【-1,600台/日】 将来OD変更、ネットワーク条件見直しによる減少 ■推計：H22OD	1.8 （1.6）	1.1 （1.3） -0.7 【-0.3】 交通量減、事業費増によるB/Cの減	2.3 （2.9）	1.9 （2.9） -0.4 【0.0】 部分供用による便益の減少によるB/Cの減	■酒田みなと～遊佐比子（仮） L=5.5km（R2） ■遊佐比子（仮）～遊佐鳥海（仮） L=6.5km（R5）	事業継続	事業継続
5 （資料4-1）	重点	秋田 山形	日本海沿岸東北自動車道 酒田～由利本荘 一般国道7号 遊佐象潟道路	H29 （社会情勢変化）	2/2	17.9km （0km）	17.9km （0km）	520億円	575億円 【＋55億円(11%)】 ○岩質の変化による工法の変更 ○仮設工法の変更 ○転石処理の追加	12年 H25～R6	14年 【＋2年】 H25～R8 用地買収難航による事業工程精査	12,300台/日 （12,300台/日） ■推計：H17OD （第２段階改善）	10,200台/日 （10,000台/日） -2,100台/日 【-2,300台/日】 将来OD変更、ネットワーク条件見直しによる減少 ■推計：H22OD	1.8 （2.3）	1.1 （1.4） -0.7 【-0.9】 交通量減、事業費増によるB/Cの減	2.3 （2.5）	1.9 （2.1） -0.4 【-0.4】 交通量減、事業費増によるB/Cの減	■小砂川（仮）～象潟 L=7.3km（R7） ■遊佐鳥海（仮）～小砂川（仮） L=10.6km（R8）	事業継続	事業継続

※第１段階改善：平成22年度から反映。将来人口等を見直すとともに、各交通分野毎に推計していた生成交通量（推計のベース）を統合して推計
※第２段階改善：平成25年度から反映。各交通分野毎に推計していた分布交通量（ＯＤ表）を統合して推計（将来交通量推計が過大にならないように、全国統一で２段階で改善）

※計画交通量・費用便益比の上段は一体評価で算出した値、下段（ ）書きは個別事業毎に算出した値